

第891回

定例教育委員会会議録

日 時 令和3年11月29日（月） 11：00～

場 所 高津学校給食センター

益田市教育委員会

第891回 教育委員会定例会

招集年月日 令和3年11月29日（月）11時00分～

招集場所 高津学校給食センター

議事日程

第1 会議録の承認

第2 教育長報告

第3 議題

報第41号 文化財の寄贈について

第4 その他

出席者

教育委員会	教 育 長	高 市 和 則
	教 育 委 員	村 上 三 恵 子
	教 育 委 員	中 野 純
	教 育 委 員	梅 津 富 美 子
	教 育 委 員	大 庭 隆 志

事務局職員	教 育 部 長	野 村 美 夜 子
	ひとづくり推進監	大 畑 伸 幸
	教 育 総 務 課 長	長 嶺 勝 良
	学 校 教 育 課 長	田 原 啓 文
	学 校 教 育 課 参 事	松 元 善 生
	文 化 財 課 長	山 本 浩 之
	人 権 ・ 同 和 教 育 推 進 室 長	岡 崎 勝
	美 都 分 室 長	田 中 一 史
	匹 見 分 室 長	齋 藤 一 臣
	教 育 総 務 課 長 補 佐	齋 藤 勝 義
	教 育 総 務 課 主 任 主 事	岩 崎 俊 也

高市教育長 ただいまより第891回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは、議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第2 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第2の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況でございます。

まず、10月29日でございますが、戦没者合同追悼式ということで、さきの戦争において亡くなられた方々に対して、今社会が繁栄し、また平和であるということに関してお礼を申し上げたところでございます。

11月2日でございます。横田中学校を訪問してまいりました。

11月3日でございます。この日は、市政功労表彰贈呈式ということで、多額のご寄附等いただいた方に対してお礼を申し上げたところでございます。

続きまして、11月6日でございます。こちら、第51回日本PTA中国ブロック研究大会島根益田大会ということで、PTAの大会が開催されました。本来であれば、1,000人単位ぐらいの方がいらっしゃるような大規模な大会でしたけれども、今年度こういう状況もあったということで、市外からは実際来ていただくということではなく、オンラインで参加をいただくという形で実施をしたところでございます。その中でも、いろいろとPTAとしての活動等報告があり、私としても非常に勉強になった会でございます。

続きまして、11月7日の日曜日でございます。こちら、益田ライオンズクラブが認証60周年記念ということで式典がございました。実は益田ライオンズクラブさんからは、この60周年の記念行事といたしまして、市のほうに防犯カメラであったりとか、また教育委員会のほうには図書購入費ということで、200万円ご寄附をいただいたところでございます。この会において市長と私、連名でライオンズクラブさんのほうに感謝状を贈呈いたしました。

ここには書いておりませんが、実は7日、横田中学校ですけれども、学校を活用して灯火祭という地域のお祭りを開催されたところでございます。そちらについては、市長に中学生、生徒会長から招待の手紙をいただいているということで、市長が実際当日訪問し、その案内をした中学生たちが市長付きっきりでいろいろなところを案内して回っていたという

ことでございます。そちらのほうに村上先生も出店をされていたということで、全体では1,000人ほどお客さんが来たということで、若い方から子連れの方から、地域のお年寄りの方までたくさんの方がいらっしやっていたということで、非常に中学生たちが地元の大人たちといろいろと活躍し、活動しているという実態を拝見したところでございます。

続きまして、11月8日と9日については、真砂小学校、安田小学校を訪問いたしました。

11月11日でございます。こちら、松江高専との連携・協力に関する協定書を締結いたしました。これによりまして、今も松江高専さんは市内で理科実験教室とかをやっていただいているところですが、そういった活動等についてもより今後力を入れて協力してやっていける態勢が構築されたというところでございます。

その後、第2回未来の担い手コンソーシアムを開催したところでございます。こちらについては、市内の学校であったり、産業界、関係者がいろいろ集まっている会議でございますが、今回からは新たに島根大学と、先ほど申し上げた協定を結んだ松江高専さんからもご出席をいただくという形で、さらに益田の子どもたちをどうやって育成をしていくのかということで議論をしたところでございます。

続きまして、11月11日でございます。益田小学校を訪問してきたところです。

11月14日でございます。こちら戸田小学校でございますが、益田市が進めております取組の中ですけれども、益田市COOL CHOICEアンバサダー事業成果発表会ということで、ちょうど14日が戸田小学校の学習発表会というところであったのですけれども、小学校の5年生がCOOL CHOICEアンバサダーの活動をしてきていたということで、それに対してCOOL CHOICEアンバサダーとしての認定証を市長から交付をいただいたというところでございます。

続きまして、16日に益田東中学校を訪問したところです。

17日でございますが、戸田小学校と東仙道小学校で租税教育推進委員をやっておりまして、その関係の表彰ということで行ってきました。

11月18日でございます。益田市の教育審議会を開催しました。こちらで、昨年度の教育委員会の取組状況について報告をするということと、中高一貫の取組の状況について報告をさせていただきました。その中で、いろいろと委員の先生方からは高所大所からご意見を頂戴したところでございます。

続きまして、11月19日でございます。こちら、議場だったのですけれども、益田市の子ども議会ということで匹見小・中学校の児童・生徒が実際市役所の議場に来て、実際議員が座る席に座ったりして、模擬的な議

会を経験したということです。これにつきましては、子どもたちが議場に入って模擬的な議会をやるということは、益田市では初めての取組だと伺っております。これからも子どもたち、特に新しい学習指導要領でも主権者教育ということが非常に重要だと言われているところですが、そういったものの一環として、こういった経験をどんどん積んでいってほしいと思っている次第でございます。

続きまして、11月20日です。こちら、スクモ塚古墳の発掘現地説明会を開催いたしました。新聞等でも報道されておりますけれども、なかなか興味深い古墳であるという専門家からのご意見もいただいているところでございます。特に議論になっているのが墳形ですが、それについては専門家からご意見は頂戴しておりますが、まだ最終的に決まったものではないということで、今後調査であったりとか、報告書を取りまとめていく中で具体的に検討をされていくと考えている次第です。こちらの説明会については、2回開催をして40人、30人ぐらいの参加があり、合計で70名ぐらいの方が熱心に話を聞いていただいたということです。

続きまして、最後です。11月24日ですが、中西小学校を訪問してきました。新校舎については委員の先生方も実際ご覧になっていただいたところがございます。新しい校舎で、子どもたちがどのように学習活動しているのかということを実際行って拝見をしたというところがございます。

教育長報告としては以上でございます。

梅津委員

スクモ塚の古墳発掘のことですが、今、前方後円墳か何かということで、なかなか結構日にちがかかるものだと思うのですが、もしそれが前方後円墳だったら島根県で一番の大きなということをお聞きしていますけれども、その決定というのはまだかもしれませんが、その見通しというものは分かるのでしょうか。

山本課長

一応、専門家の先生方からは、前方後円墳で間違いないという見解は既にいただいておりますが、それをそのまま市の公式見解とするには、もう少し肉づけをしなければいけないところがございますので、それをするためにはやはり成果報告書というものを次年度以降からまとめる計画にしておりますので、その時点できちんとした見解を発表していきたいと思っています。

ちなみに、もし前方後円墳であれば96メートル以上ということで、一応県内最大級ということになりますが、市の公式見解としてはもうしばらくお待ちいただきたいと思っております。

梅津委員

ありがとうございました。

大庭委員

匹見小中の子どもたちが主権者教育ということで、いわゆる市議会を行う会場で体験をしたということですが、全国的にもなかなか地方の議員

さん方に成り手が無いということで、非常に大きな問題を抱えておるのが全国の実態だと思います。益田市もそういうことがないように、いろいろ子どもたちが小さいときから興味を持つのに、こういったものには力を入れて、それぞれの市内の小・中学校で、ぜひこういった体験をしてもらえれば良いのではないかと考えています。以上です。

高市教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

第3 議題

○報第41号 文化財の寄贈について

高市教育長

それでは、これから第3の議題に移らせていただきます。

報第41号文化財の寄贈についてです。事務局より説明をお願いします。

山本課長

それでは、私のほうから古文書と歴史資料、絵はがきの2件を寄贈いただきましたので、その説明をさせていただきます。その前に、本日は実物を持ってまいりましたので、よろしければ、ご覧になってください。こちらが絵はがきで、こちらが巡見使の御案内です。それでは、説明をさせていただきます。

まず、寄贈者一覧をご覧になっていただきたいと思います。まず、1番目の古文書につきましては、原紺文治さんという方、広島在住の方ですが、大分以前に広島で古美術商で購入されましたという話の中で、久しぶりに読み返してみたら、これは非常に益田市に関係がある古文書ではないのかということで、わざわざ郵送で送っていただいたものでございます。

そして、2番目が今、ご覧になっておられる石見高津の名所の絵はがき、そして今日はございませんけれども、匹見峡の絵はがきといったものの2種類を奈良県の吉川幸雄さんという方から寄贈をいただいたというご説明をさせていただきます。

では、最初に、御巡見使御案内心得方手控というA4 1枚の資料がございますので、ご覧になっていただきたいと思います。

まず、天保9年、1789年に幕府から使わされた巡見使という方、いわゆるお代官様だと思いますけれども、浜田藩領に派遣された方をご案内した人物が持っていた手控えの書であります。恐らく庄屋クラスの人物が案内をして回ったと思うのですけれども、現代で言いますと会計検査院が現地の視察等するのですけれども、その際のいわゆるマニュアル的なものというふうなイメージで思っただけだと思います。

この中身ですけれども、木部から下吉田までの各村のそれぞれの風物詩ですとか、また田んぼの石高ですとか、また人口ですとか、様々な地域の情報が盛り込まれたものとなっております。特に、木部から益田間は当時の山陰道に相当するものといったところが分かると思います。江戸時代後期

における地域史を語る上でも、非常に重要なものであると考えております。それで、書き下し文というものを一応別途またおつけしておりますので、もしよろしければご覧になっていただきたいと思います。

続けてまいります。次が、絵はがきでございます。今、石見高津の名所絵はがきのほうは回しておりますけども、昔の高津大橋ですとか、今はない連理松等々、これらのどうも戦争前の資料でございますので大変貴重であるといった歴史資料となっております。

下のほうは、今日は持参できなかったのですが、匹見峡の絵はがきです。いろいろ調べましたら、現在よりも水の量が大変多いといった変化がうかがえます。ただ、個別に関しての大きな違いというのは、すみません、よく分かりません。今、匹見町には4つの匹見峡というのがございますが、表であったり、裏であったり、奥であったりというものがそれぞれ形状された写真ということがうかがえると思います。

大変簡単な説明ですが、以上で終わります。よろしく申し上げます。

大庭委員

今、こうして古文書を見させてもらいましたけども、随所に遠田とか津田とか、私の地元に関わる名前、それから暁音寺とか妙義寺とか、そういう益田市内のお寺の名前も出ておまして、多分想像ですけども、事細かい情報をこの中に記載しているのだろうということをよく感じました。以上です。

高市教育長
村上委員

ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

私は、高津出身でもありますので、こうした戦前の高津の町並みを拝見することができて、とてもすばらしいものだと感じながら見させていただきました。とても保存状態もよくて、きれいな物でもありますので、また機会がありましたら市民の方に公表しながら見ていただくということもできればと考えておりますので、またその辺の配慮をお願いいたします。

高市教育長
梅津委員

承知しました。

無知で申し訳ないのですが、今までも古文書みたいないろいろと歴史的な資料が寄贈された方とかいらっしゃると思うのですが、その物はどこに展示等されていらっしゃるのでしょうか。

山本課長

こうした資料の一式は、文化財課の上に歴史文化研究センターという専用の部屋がございますので、そこで空気調整をしながらきちんと保管しております。それで、いろいろ企画を立てる段階で、こうした物を今後どういうふうに展示していくのかというところを、職員と一緒に考えているといったような状況になります。ですから、通常ずっと展示をしているというわけではございません。

梅津委員

わかりました。この高津の歴史を知る上でも、昔の大橋を見たこともありませんし、皆さんに、一人でも多くの方に見ていただきたいと思います。

山本課長

はい、わかりました。

中野委員　　こうして美術工芸品の寄贈をいただいて、非常にありがたいことだと思います。教育委員会としては、こうして寄贈をしていただける方に対しては、何かしらお返しといたしますか、お礼状を含めた形でされていらっしゃるかどうかという確認させていただきたいと思います。

山本課長　　ありがとうございます。お礼状をすぐ発送して、感謝の気持ちをお伝えしております。

中野委員　　ありがとうございます。すみません、もう一点追加でお聞きします。こうして美術工芸品を寄贈していただいて、ぜひ市民の方に触れるような形を取っていく必要があるのかと思います。いろいろな記念館等もあるのかもしれませんが、一番市民の方が足を運ばれるところというのは市役所ではないかと思っていますので、もし機会があればそういったところの一角でもありましたら、非常にありがたいと思いました。以上です。

山本課長　　分かりました。

高市教育長　　ありがとうございます。そうですね、いろいろと我が市においても文化財等というのはたくさん保管をしているところでございますけれども、やはり保管も重要ないわゆる仕事でございますけれども、やはり文化財や美術品というのは見てもらって、知ってもらってというのが非常に重要なところだと思っています。

先ほどもありましたスクモ塚古墳も、保存というところも重要ですがけれども、それをどうやって活用していくのか、今回いただいたものをどうやって活用して市民に広く知ってもらおうのかということも、非常にいわゆる文化財行政においては重要なポイントだと思っておりますので、私から担当部署にはそういった点も考えていきながら活用していくよう、保管、保存だけではないというところをさらに進めていきたいと考えております。

高市教育長
教育委員　　それでは、この件についてよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

高市教育長　　それでは、以上をもちまして定例会を終わります。

次回は12月22日に定例教育委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

＝終了時間　11時40分＝